

# 国指定重要文化財の保守管理について

## －工学部研究資料館の開放と工作機械の保守管理－

○中村秀二，倉田 大，白川武敏，清水久雄，平田正昭，廣田将輝，神之田信幸  
機器製作技術系

### 1 はじめに

工学部研究資料館の建物と館内の工作機械 11 台は，平成 6 年に国指定重要文化財の指定を受けた。本館は，熊本高等工業学校の機械実験工場として明治 41 年に設置され，現存する建築物として全国でも数少ない貴重な歴史的建造物である。また，平成 19 年には一般社団法人日本機械学会より工学部研究資料館および重要文化財工作機械（11 台）に新たに 2 台の工作機械を加え，機械遺産として認定を受けた。



### 2 機械遺産について

#### 2.1 機械遺産とは

機械遺産は 2007 年 6 月に一般社団法人日本機械学会創立 110 周年記念事業により，歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し，文化的遺産として次世代に伝えることを目的に，日本の機械技術発展において強い影響を与えた機械・機器・機械関連システム・施設・設計仕様書・教科書などを対象に与えられ，これらの機械遺産を保存する制度である。

#### 2.2 工学部研究資料館の歴史 - 機械遺産認定まで -

明治 30 年(1897)に設置された第五高等学校から熊本高等工業学校が明治 39 年(1906)に独立し，明治 41 年(1908)12 月熊本高等工業学校機械実験工場として竣工された。その後，熊本大学工学部に引き継がれ，昭和 47 年(1972)までの約 60 年間，実習工場として研究支援や学生指導などに用いられてきた。

昭和 52 年(1977)に熊本大学工学部 80 周年記念事業で，工学部研究資料館となり，平成 6 年に建物と工作機械群 11 台が重要文化財として指定された。平成 9 年(1997)，熊本大学工学部 100 周年記念事業の一環として，これまで稼動していた 3 台の機械以外 8 台の動態保存化を進め，平成 11 年(1999)国指定重要文化財工作機械 11 台全てが動態保存となった。平成 18 年(2007)日本機械学会より，工学部研究資料館および館内工作機械群 13 台(重要文化財 11 台含む)が機械遺産に認定される。

#### 2.3 今後の工学部研究資料館の役割

工学部研究資料館は，機械遺産の認定条件にもあるように「歴史に残る機械技術関連遺産を大切に保存し，文化的遺産として次世代に伝えること」が肝要と考える。この機械遺産の認定により，毎年多くの来館者があり，秋には研究資料館の建物の空間を活かした音楽コンサートを開催し，大学の恒例行事になっている。

このように工学部研究資料館は，教育研究だけではなく，様々な分野に関しても活用されている。

表 1 に平成 27 年度の工学部研究資料館の行事および来館者数を示す。

表 1 工学部研究資料館(重要文化財工作機械)の公開および来館者数

公開日	行事内容	来館者数(名)
平成 27 年 4 月 10 日	熊本学園大学, ヤマザキマザック社長他	5
平成 27 年 4 月 17 日	教育学部地理学研究室見学会(交換留学生含む)	46
平成 27 年 5 月 19 日	岩井元教授同級生見学会	7
平成 27 年 6 月 4 日	昭和 40 年入学 資源開発工学科	10
平成 27 年 7 月 14 日	韓国 東亜大学校見学	80
平成 27 年 8 月 2 日	中学生のための夏休み自由研究相談会	35
平成 27 年 8 月 8 日	工学部オープンキャンパス	741
平成 27 年 9 月 12 日	昭和 55 年 資源開発卒業生	15
平成 27 年 9 月 28 日	留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー	181
平成 27 年 9 月 29 日	昭和 40 年 土木科卒業生	8
平成 27 年 10 月 4 日	昭和 40 年 電子科卒業生	15
平成 27 年 10 月 6 日	海外大学生(11) および昭和 40 年採鉱卒業生(13)	24
平成 27 年 10 月 7 日	学長表敬訪問に伴う見学	11
平成 27 年 10 月 7 日	昭和 34 年 機械科卒業生	11
平成 27 年 10 月 21 日	九州地区国立学校会計事務研修会	90
平成 27 年 10 月 26 日	外国からの訪問者(坂本英俊先生引率)	10
平成 27 年 11 月 1 日	夢科学探検 2015	755
平成 27 年 11 月 6 日	秋の夕暮コンサート	82
平成 27 年 11 月 10 日	JASSO Engineering Workshop 2015	6
平成 27 年 12 月 11 日	教育学部教育技術学科 引地先生および学生	13
平成 28 年 1 月 28 日	韓国 海洋大および生協職員	18
平成 28 年 2 月 1 日	韓国 東明大学	6
平成 28 年 3 月 11 日	市場調査委員会 需要調査研究部会	9
平成 28 年 3 月 25 日	昭和 46 年卒業生(5) および黒髪 4 町内(24)	29
	小計	2,207
毎月第 3 金曜日	定期公開 平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	187
その他	平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月	85
	合計	2,479

### 3 おわりに

工学部研究資料館は、年間行事などのほか、毎月第 3 金曜日(平成 24 年度より)に一般公開を実施している。また、本館の維持管理のため、技術職員により毎月、館内清掃と工作機械のメンテナンスを行なっている。この歴史ある貴重な建物および工作機械群を多くの方々に見学していただき、機械産業の原点を感じていただければ幸いである。以下に各連絡先を示す。

- ※工学部研究資料館に関すること 建築学科教授 伊東龍一 館長 Tel 096-342-3554
- ※工作機械および動態保存に関すること 技術部 機器製作技術系 中村秀二 Tel 096-342-3779
- ※工学部研究資料館の見学に関すること 自然科学系事務ユニット 総務担当 Tel 096-342-3513